

達谷窟毘沙門堂略縁起

むかしむかし たつこくのいわや
 昔々、達谷窟に 蝦夷の頭 悪路王や、
 赤頭 高丸が 城を造り、女の人や 子供を
 さらったり 宝物をうばったりしていま
 した。みんな困っていましたが どうする
 事もできません。

ある時、悪路王らは 京の葉室中納言様
 の娘、ゆり姫様をゆうかいしたのです。

悪路王はゆり姫様を 窟の奥にとじこめました。かこの鳥
 のようにお姫様をとじこめていたので、そこは『かこのひめ』
 と呼ばれるようになりました。

悪路王らは にげ出そうとするお姫様を
 下の瀧で待ち伏せしました。

この瀧は『姫待瀧』と呼ばれました。
 そしてとらえられたお姫様の髪を切



り大きな石にかけま
 した。髪をかけられ
 た石はかつらの様に
 見えたので『髻石』
 と呼ばれました。



記念にスタンプを押そう！



鬼の相撲場
 悪路王の家来が相撲を取った土俵と伝えられています。



達谷窟毘沙門堂
 悪路王等の蝦夷を征伐した征夷大将軍 坂上田村麿公が、戦勝の御礼に建立。百八牀の毘沙門天を祀りました。

写真で迎える伝説の地

別當 達谷西光寺

〒029-4102 岩手県西磐井郡平泉町平泉字北澤16番地
 TEL 0191 (46) 4931 FAX 0191 (34) 9911
 TEL・法話 0191 (46) 5037
 ホームページ <http://www.iwayabetto.com>

©許なく境内諸堂諸佛及び縁起等の掲載を禁ずる



田村磨公が戦うと、戦の神様である 毘沙門天様が天から
 おりて来て 田村磨公に味方しました。
 毘沙門様のおかげで 田村磨公は悪路王を征伐し、ゆり姫
 様はじめ 多くの人々を救い出す事ができたのです。
 坂上田村磨公は、戦に勝ったお礼に 悪路王らの住ん
 でいた窟に お堂を建て 百八体の毘沙門様を祀り、窟毘
 沙門堂と名付けました。これが達谷窟毘沙門堂の 始ま
 りです。



悪路王の悪行はとどまる
 ところを 知りません。そこ
 で 桓武の帝は、坂上田村磨
 公に、蝦夷征伐をお命じに
 なられたのです。
 ところが、悪路王ら 蝦夷
 は強く、田村磨公は苦戦しました。皆を助けて守るために

これ以後、人々は毘沙
 門様を拝み、田村磨公に
 感謝して 幸せに暮らしま
 したとさ。

今から 一千二百年以
 上も昔のお話です。

どんとはらい

写真で巡る伝説の地



髭石
 逃げ出したお姫様の黒髪を切り、石に
 掛けて見せしめにしたと伝えられてい
 ます。



姫待滝
 悪路王が逃げ出そうとするお姫様を待
 ち伏せた滝と伝えられています。



桜野
 悪路王がさらってきたお姫様を連れて
 て、花を愛で酒盛りを楽しんだ場所と
 伝えられています。



籠姫
 悪路王がさらってきたお姫様をとじこ
 めた屋敷と伝えられています。



手掛松
 悪路王がこの松に手を掛けて、南から
 攻め寄せた田村磨公東征の軍を眺めた
 という伝説の松です。



鬼の見張場
 悪路王の家来が見張りにした砦と伝え
 られています。